学術誌「理学療法研究・長野」投稿規定

1. 本誌の目的

(1) 理学療法学および関連する分野の研究を公表し，理学療法学の発展に寄与する.

(2) 本会員の卒後継続教育に資する教育的な論文を掲載する。

2. 記事の種類

(1) 原著論文：新規性および独創性があり，明確な結論を示した、質の高い論文.

(2) 症例研究：症例の臨床的問題や治療結果について、適切にデザインされた研究を行い，考察を行った論文.

(3) 短報：新規性や速報性が高い内容で、簡潔に記載された短い論文

(4) 実践報告：理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で，新たな工夫や介入，結果等について具体的かつ客観的に情報提示し，その内容が有益と判断されたもの

(5) その他，システマティックレビュー，調査報告，症例報告，寄稿など，編集会議で掲載が適切と判断された論文および記事.

3. 投稿者の資格

本誌への投稿は，原則として本会会員であることを要するが，本会に寄与する論文であれば会員に限らず投稿を受理する.

4. 投稿原稿の条件

投稿条件は，他誌に発表，または投稿中の原稿でないこと．本規定および執筆規定にしたがって作成すること.

5. 利益相反

利益相反について，論文投稿に際してはタイトルページに記載すること．利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料，株式所有，寄付金，特許など）がある場合はその旨を記載すること．利益相反がない場合には，「本研究に関連した開示すべき利益相反はない」と記載すること．なお，利益相反に関しては日本理学療法士協会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること.

6. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権および版権は，（一社）長野県理学療法士会に帰属する．また，本誌に掲載された論文はオンライン公開される.

7. 研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと.

Presented by Medical*Online

原著論文，症例研究，短報としての論文掲載を希望する場合には，研究計画について所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ることを必須する．論文中に，倫理審査委員会名および承認番号を必ず記載すること．なお，倫理審査委員会より承認の非該当となった場合には，その旨を記載する．

実践報告，調査報告，症例報告としての論文掲載を希望する場合には，所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認は必須ではないが，取得した情報を論文として発表することについて，研究対象者から同意を得ること。

8. 原稿の採択

原稿の採否は複数の査読者の意見を参考に編集会議において決定する．査読の結果，編集方針に従って原稿の修正を求めることがある．また，必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正やレイアウトの変更を行うことがある．

9. 校正

著者校正は原則として 1 回とし，誤字脱字を除く文章および図表の変更は原則として認めない．

10. 執筆規定

10.1. 規定枚数

Microsoft® Word と互換性のあるワープロソフトを用いて,タイトルページ，要旨，引用文献を除いた本文が A4 用紙 10 枚以内となるように作成すること．詳細は下記の目安を参照すること．枚数は厳守してください．規定枚数を超える場合は返却します．

(1) 「原著論文」: A4 用紙 10 枚（12,000 字）以内
(2) 「短報」「症例報告」「紹介」: A4 用紙 5 枚（6,000 字）以内
(3) 「調査」「総説」: A4 用紙 10 枚（12,000 字）以内

10.2. レイアウト

(1) 原稿は A4 用紙に 40 字×30 行として作成してください．
(2) 本文には行番号とページ番号(ページ下部中央)を必ず記載してください。
(3) 原則として文字フォントは MS 明朝、英数字は Times New Roman としてください。文字の大きさは 10 ポイントにしてください。
(4) 本文と図表は，ファイルを分けて作成して下さい．
(5) 本文中の引用箇所には，対応する文献番号を肩番号（[1)]，[2)]，[3)]，・・・）で付けること．

10.3. 構成要素

(1) タイトルページ

タイトルページには以下を含むこと．

・表題：略語や略称を用いずに，簡潔に記載する．
・副題：必要に応じて副題をつけても構わない．

Presented by Medical*Online

・著者、所属：氏名，所属施設名，職種名を記載する．筆頭著者を先頭に記し，責任著者をその次に記すとともに氏名の末尾に「＊」をつけること．所属の後に「＊責任著者，連絡先メールアドレス」を記載すること．筆頭著者と責任著者は同一であっても良く，その際は筆頭著者の氏名の末尾に「＊」をつけること．

・倫理的配慮：原著論文，症例研究，短報としての論文掲載を希望する場合には，倫理審査委員会名および承認番号を記載する．実践報告，調査報告，症例報告としての論文掲載を希望する場合には，取得した情報を論文として発表することについて，研究対象者から同意を得たことを説明と同意の方法も含めて記載する．

・利益相反の有無

・研究補助金など助成制度の利用の有無

(2) 要旨：400 字程度で和文要旨を記載する．

【はじめに】,【方法】,【結果】,【結論】について項を分けて簡潔に記載する．ただし，原著論文，短報以外の記事の種類の論文においては，著者の判断で項目名を変更しても良い．原則として要旨には略語を用いず，要旨単体で成立する形で作成すること．同一の用語が複数回使用する場合はフルスペルと略語を併記することで用いても良い．要旨内で文献の引用はしないこと．

(3) キーワード

論文のキーワードを 3 つ,「・」で区切って要旨の下に記載する．

(4) 本文

本文は原則以下の項目に沿って構成すること．症例報告においては【はじめに】【症例提示】【考察】【結論】【引用文献】としてもよい．

【はじめに】

研究の背景，先行研究との関連性，研究の臨床的意義，研究の目的，仮説などを記述する．

【対象と方法】

用いた研究手法について第三者が追試できるように記述する．

【結果】

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する．

【考察】

結果の要約，結果の解釈，先行研究との比較，得られた知見の臨床的意義，研究の限界などを記述する．

【結論】

研究で得られた結論を 200～300 字で簡潔に記述する．

【引用文献】

必要最小限にとどめ，本文の引用順に記載する．著者が複数の場合は筆頭著者のみで，共著は，他または et al.と記す．

a.雑誌の場合

著者名：（コロン）表題．（ピリオド）雑誌名．（ピリオド）西暦年号；（セミコロン）巻号：（コロン）ページ（最初－最終）．（ピリオド）

Presented by Medical*Online

※英語論文を引用する場合、論文名は最初の単語の頭文字のみを大文字で記載する．また、掲載雑誌の略称は PubMed（https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/）の略称に倣うこと．

[例]

1)宮本謙三, 他 : 加齢による敏捷性機能の変化過程― Ten Step Test を用いて―. 理学療法学. 2008; 35: 35–41.

2)Tompkins J *et al*.: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. Phys Ther. 2008; 88: 928–935.

b. 成書の場合

著者名 :（コロン）書名,（カンマ）編集者または監修者名.（ピリオド）発行所名,（カンマ）発行地,（カンマ）発行年,（カンマ）掲載ページ.（ピリオド）

[例]

1)Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97–112.

2)名郷直樹 : EBM の現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際．内山靖（編），医 歯薬出版，東京，2008，pp. 18–38

c. ウェブページの場合

ウェブページのタイトル,(カンマ)URL, (カンマ)(アクセスした日付).(ピリオド)

[例]

1)厚生労働省ホームページ 障害者白書平成 23 年度版, http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/ h23hakusho/zenbun/index.html,（2011 年 12 月 19 日引用）.

(5) 図・表

図・表には本文に出てくる順番で一連番号を付けること．本文とはファイルを分けて、ワードファイルとして作成すること。図表等は最大 6 点までとする．なお，論文題名，著者名等を記載した表紙および要旨は含まれません．図表を既存の発行物から転載する場合は、著作者に転載の許諾を得ること．転載許諾書が必要な場合は申し出ること．

- 図 : 表題は図の下に記載すること．必要に応じて表題に続けて図についての説明文（図説）を記載すること．1 つの図を複数の図で構成する場合には，それぞれの図の左上に大文字のアルファベッドを記載すること．
- 表 : 表題は表の上に記載すること．略語など表についての説明が必要な場合は，表の下に記述すること．特別な必要がない限り表に縦線は使用しないこと．

10.4. その他の留意点

(1) 句読点はカンマ（,），ピリオド（.）を用い，英字は半角を用いること．

(2) 数字は算用数字，単位は国際単位系（SI 単位）を用いる．長さ : m，質量 : kg，時間 : s，温度 : ℃，周波数 : Hz など．

(3) 略語は相当する日本語がある場合はそちらを用いた後，かっこ内にフルスペルで記載し，「: 以下，○○」と記載する．相当する日本語がない場合は，フルスペルを記載し，「: 以下，○○」と記載する．

Presented by Medical*Online

例）日常生活活動（activity of daily living：以下，ADL）
Mini Mental State Examination（以下，MMSE）

(4) 機器名やソフト名は，「一般名(製品名，会社名，製造場所)」で表記する．

11. 原稿送付方法および連絡先

(1) 原稿送付方法

原稿の送付は原則としてメール添付によるものとする．原稿の受理後，その旨をメールにて返信する．1 週間を過ぎて原稿受理の連絡がない場合は問い合わせること．原稿の送付に当たっては以下の書類を揃え提出すること．

A) カバーレター（標題，希望する記事の種類，研究の必要性，研究の目的と主な結果，研究結果の臨床的意義を記載したものを Word で作成し PDF に変換すること．連絡先として責任著者の所属，住所，電話番号，メールアドレスを記載すること．）

B) タイトルページ（論文タイトル,著者名,所属機関,利益相反,倫理審査の有無,研究費補助金の有無をそれぞれ記載すること）

C) 投稿論文（タイトル,要旨,本文を記載すること．論文本文の著者等の個人を特定・推測できる情報（所属機関名，市区町村名，倫理委員会名，倫理委員会承認番号，研究助成金承認番号，謝辞における氏名・所属機関名等)を，黒塗りすること．Word 形式）

D) 図表ファイル（Word 形式）

E) 査読用論文（投稿論文を PDF に変換して添付，その際行番号をつけること）

F) 査読用図表ファイル（図表ファイルを PDF に変換して添付）

G) 図表転載に係る許諾書（図表を引用した場合は必ず許諾を得ること）

(2) 問い合わせ先

〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100
長野県立こども病院
リハビリテーション技術科
長野県理学療法士会 学術局学術誌編集部
北村永介
TEL:0263-73-6700（代表）
E-mail：gakujyutsushi@ptnagano.or.jp

（令和８年 4 月 11 日一部改訂）

Presented by Medical*Online